

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習Ⅱ			必修	2	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
齊藤 晋治 他		B308	s-saito		水曜・木曜 12:10～13:00	
授業の目的・概要	<p><目的> 社会福祉の各分野についての現状や課題を学習するとともに、心や脳、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解することで、3 年次から始まる福祉心理学専門演習に向け、関心領域を深め、将来の職業選択について熟考できるようになることを目的とする。</p> <p><概要> 毎回グループワークを中心とした討論と調べ学習を中心に展開していく。また、3 年次の福祉心理学専門演習所属を検討するための課題を課す。</p>					
学習上の助言	各自、自分の将来像について考えながら講義を受講すること。					
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。					
参考書	授業の中で随時紹介					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	福祉、心理の学問についての専門的な文献を読むことができる。				HSU (2) (5), 社①精①心①	
②	福祉、心理の学問が将来どのように役立つかを理解し自分の言葉で説明できる。				HSU (2) (6), 社①精①心①	
③	福祉や心理の学問が生かされる職業について理解し自分の将来像を想像できる。				HSU (2) (6), 社①精①心①	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	授業オリエンテーション、授業概要の説明を受け、学習方法を理解する。	登校型授業 講義・演習	レジュメの復習 2			
2	データ収集と整理について学び、データをまとめたものを提示する	登校型授業 講義・演習	データ収集と整理をレポートにまとめる 2			
3			2			
4	福祉・心理の領域について理解する (1)。	登校型授業 講義・演習	関心領域の文献を読み、まとめ発表の準備をする。 2			
5			発表、討議やワーク、またそれに対するフィードバックを基に、再度内容について各自で整理し、前回の確認を行う。 2			
6	福祉・心理の領域について理解する (2)。	登校型授業 講義・演習	4			
7			4			
8	福祉・心理の関心領域についての理解を深める (福祉心理学科の先輩のプレゼンテーションから自分の進路を考える)	登校型授業 討論	関心領域について、理解できたことをまとめる。 4			
9			4			
10	福祉・心理の学問が活用されている職場の現状と課題を理解する (1)。	登校型授業 講義・演習	福祉・心理の学問が活用されている職場の現状と課題についてまとめ、発表の準備をする。 6			
11			6			
12	福祉・心理の学問が活用されている職場の現状と課題を理解する (2)。 関心領域を深め、将来の職業希望をまとめる	登校型授業 講義・演習	発表、討議やワーク、またフィードバックを基に、再度内容について各自で整理する。 6			
13			6			
14	関心領域を深め、将来の職業希望をまとめる (2)。	登校型授業 講義・演習	1～7 の内容と 8～12 の内容について再度確認をする。 6			
15	福祉心理学演習Ⅰに向けて、関心領域を深め、将来の職業希望をまとめる。	登校型授業 講義・演習	1～12 の内容を再度見直し、将来の希望について考える。 6			
試						

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	50	30	0	20	100	
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10	
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	福祉心理の領域について理解を深め、自分自身の関心領域についての整理と専門演習に関するまとめのレポートを提出する。				授業時間内に解説・講義を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	授業内でグループワークを行い、その話し合われた内容などについて発表を求める。				授業時間内に適宜、フィードバックを行う。	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業への取り組む姿勢、事前準備などを評価する。				授業時間内に適宜、コメントを加える。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</p> <p>担当教員：◎齊藤晋治、鈴木真吾、宇賀美奈子、梅沢佳裕、瀧口綾、高田毅、古川奨、柗木隆寿、渡邊隆文（50 音順）</p> <p>教員の実務経験 齊藤晋治：精神科ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 15 年の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：授業では、教員自身の経験をもとに、専門職の領域に関する知識と事例を活用し、情報提供を行っていく</p>								